

戦争と謝罪表現に関する日中対照研究

竹 中 佐英子

提 要

本文以日本首相、天皇就战争问题向中国道歉的讲话和文章为分析资料，探讨并揭示战争谢罪语言在日汉两语中的异同。研究结果显示，首相谈话里常用的语言是“深刻的反省”“由衷的歉意”“发自内心的道歉”“巨大的损害和痛苦”等，中方把它们视为真正意义的道歉。再者，天皇用“不幸”“遗憾”等词语讲话，也被认可为间接的道歉。与日语不同的是，汉语要求主语的明示。即使用“反省”“歉意”等词语，如果发动战争、侵略中国的主体不明确，中方就觉得歉意层次未够。此外，说话人的思想（右翼分子）、道歉实施的背景（抗日战争胜利阅兵等）也影响到中方对日方的评价。

キーワード：戦争、謝罪、天皇、首相談話、中国語訳

0. テーマ選定理由

2015年、日本は第二次世界大戦終結70周年という節目の年を迎えた。日本政府の要人はこれまで節目の年に、対中戦争について謝罪の意を表してきた。马立誠2015.によれば、「歴代の日本政府の指導者は戦争問題について、中国に対して25回も謝っている。」と言う。しかし、中国政府は事あるごとに日本政府に対し、戦争の謝罪を求めて来る。劉遵義（ローレンス・ラウ）2015.によれば、「1945年以降、ほとんどの日本の首相は何らかの形で謝罪をしてきた。しかし日本が十分に謝罪をしたようには見えない。」と言う¹⁾。なぜ中国は日本に繰り返し謝罪を求めるのだろうか？理由として、旧日本軍に打ち勝った中国共産党が中華人民共和国を指導する正当性を持つことをアピールしたい、という国内事情があるだろう。しかし、もし、日本が謝罪に用いた言葉が、中国語に翻訳されると謝罪になっていないのであれば、それは日中言語対照研究者が解明しなければならない問題である。

本稿では、日本が先の戦争の責任やそれに対する謝罪を述べた公式の文書やスピーチで、どのような言葉が用いられているか、それがどのような中国語に翻訳されているかを調査、考察する。中

国が日本に謝罪を求める理由が、日本語の方にあるのか、あるいは翻訳された中国語の方にあるのか、あるいは政治、文化、国内事情にあるのか、言語およびそれ以外の要素も含め、原因を究明したい。

1. 本稿の考察対象

本稿は、日本の首相、天皇が、日本政府として、あるいは日本国を代表して、中国に対し、対中戦争について言及した文書やスピーチ計9件を考察の対象とする(表1参照)。その中で用いられている、日本の戦争責任やそれに対する謝罪を述べた日本語表現を調査し、その中国語訳を考察する。中国語訳は、表1. ①, ③は日本国外務省、⑨, ⑬, ⑮は在中国日本大使館、⑦, ⑪, ⑮は中国のサイトが発表した翻訳を用いる。中国語の資料しかなく、日本語の翻訳が発表されていない⑤, ⑥は、筆者が翻訳する。「安倍談話」は中国語の翻訳が3種類あるので、全て考察に用いる。発表中に登場する人物の役職名は全て、文書やスピーチを発表した当時のものであり、敬称は略している。

2. 「ご迷惑」「損害」に対応する中国語表現—田中スピーチから「日中共同声明」へ—

本章では、日本の対中戦争について初めて公式に謝罪を表明した「1972田中スピーチ」と、その4日後に発表された「1972声明」などで用いられた「ご迷惑」「損害」という言葉を中心に考察する。田中角栄首相は対中戦争を謝罪するのに、以下のようにスピーチした。

(1)a. しかるに、過去数十年にわたって、日中関係は遺憾ながら、不幸な経過を辿って参りました。この間わが国が中国国民に多大のご迷惑をおかけしたことについて、私はあらためて深い反省の念を表明するものであります。(「1972田中スピーチ」)

(1)b. 然而，遗憾的是过去几十年之间，日中关系经历了不幸的过程。其间，我国给中国国民添了很大的麻烦，我对此再次表示深切的反省之意。(1972田中讲话)

日中国交正常化の過程を詳細に記録した〈1972周恩来发火〉によると、中国側は田中の好物の台湾バナナや木村屋のあんぱん、田中の実家・新潟の三年物の味噌を用意し、晩餐会では新潟の「佐渡おけさ」「越後獅子」、大平正芳外相の実家・香川の「金毘羅舟舟」を演奏し、最高のおもてなしで迎え、国交正常化を成功させようと努力していた。しかし、日本側は「自民党内には親台派もあり、日中国交回復反対が根強い」という事情を鑑み、「日本国内の世論を考慮した、ギリギリの表現」をすることとし(橋本恕外務省中国課課長)、(1)a.「多大のご迷惑をおかけした」という表現で謝罪した。この中国語訳(1)b.「添了很大的麻烦」に対し、周恩来総理は「道路に水を打っていたら、不注意にも女性のスカートにかけてしまった時に謝るようなものでしかない」という理由から、

表1. 考察対象とする文書、スピーチ

	発信者	文書名、スピーチ名	分類	論文中の略称	発表年月日、場所
①	田中角栄首相	「周恩来総理主催招宴における田中内閣総理大臣挨拶」	スピーチ	「1972田中スピーチ」	1972年9月25日、中国北京
②		日本国外務省が発表した①の中国語訳	スピーチ	〈1972田中讲话〉	
③	田中角栄首相、周恩来総理	「日中共同声明（日本国政府と中華人民共和国政府の共同声明）」	文書	「1972声明」	1972年9月29日、中国北京
④		日本国外務省が発表した③の中国語訳	文書	〈1972声明〉	
⑤	昭和天皇（裕仁）、福田赳夫首相	「邓小平1978年访日：最终实现了周恩来的遗愿」	スピーチ	〈1978天皇〉	1978年10月23日、日本東京
⑥	天皇陛下（明仁）	〈中日双边政治关系回顾〉	会見	〈1989天皇〉	1989年4月13日、日本東京
⑦	天皇陛下（明仁）	「国家主席主催晩餐会（人民大会堂）における天皇陛下のおことば」	スピーチ	「1992天皇」	1992年10月23日、中国北京
⑧		楊振亞2007.が発表した⑦の中国語訳	スピーチ	〈1992天皇〉	
⑨	村山富市首相	「戦後50周年の終戦記念日にあたって」1,282字	スピーチ、文書	「村山談話」	1995年8月15日、日本東京
⑩		在中国日本大使館が発表した⑨の中国語訳	文書	〈村山谈话〉	
⑪	小渕恵三首相、江沢民国家主席	「平和と発展のための友好協力パートナーシップの構築に関する日中共同宣言」	文書	「1998宣言」	1998年11月30日、日本東京
⑫		中国サイト「法律教育网」が発表した⑪の中国語訳	文書	〈1998宣言〉	
⑬	小泉純一郎首相	「内閣総理大臣談話」1,135字	スピーチ、文書	「小泉談話」	2005年8月15日、日本東京
⑭		在中国日本大使館が発表した⑬の中国語訳	文書	〈小泉谈话〉	
⑮	安倍晋三首相	「安倍内閣総理大臣談話」3,354字	スピーチ、文書	「安倍談話」	2015年8月14日、日本東京
⑯		在中国日本大使館が発表した⑮の中国語訳	文書	〈安倍谈话大使馆〉、〈安倍大使〉	
⑰		中国ニュースサイト〈新浪网〉が発表した⑮の中国語訳	文書	〈安倍谈话新浪网〉、〈安倍新浪〉	
⑱		中国紙サイト〈环球网〉が発表した⑮の中国語訳	文書	〈安倍谈话环球网〉、〈安倍环球〉	

「この謝罪の仕方は到底受け入れられない」と激しく反発した。横川2011.は、「日本語の『ご迷惑をかけた』は謝罪の決まり文句であるが、中国語の“添了很大的麻烦”は「多大の」「迷惑」「かけた」の3語に相当する中国語を中国語の語順に置き換えただけであって、本来の意味は伝わらない。“麻烦”を用いたのは誤訳であり、日本の総理大臣として世界に発する第1回目のステートメントには明瞭な『国際語』を使うべきだった。」と結論付けている。

なお、その数日後に発表された「1972声明」では、以下のように言葉を変えた。

(2)a. 日本側は、過去において日本国が戦争を通じて中国国民に重大な損害を与えたことについての責任を痛感し、深く反省する。(「1972声明」)

(2)b. 日本方面痛感日本国过去由于战争给中国人民**造成重大损害**的责任，表示**深刻的反省**。(「1972声明」)

日本側は中国側の「“麻烦”は戦争謝罪に不適切」という強い抗議を受け入れ、(2)a.「重大な損害を与えた」という表現に改め、(2)b. “造成重大損害”と翻訳している。日本語の「迷惑」、中国語の“麻烦”“损害”という言葉の辞書解釈を比較すると、表2、3のようになる。

表2、3を見るに、「迷惑」には「やっかいな目にあう、いやな思いをする、わずらわしい」、「麻烦」

表2. 日本語の「迷惑」の辞書解釈

	『広辞苑』	三省堂『新明解』	小学館『新選国語辞典』
迷惑	① どうしてよいか迷うこと。 ② 困り苦しむこと。難儀すること。 ③ 他人からやっかいな目にあわされて困ること。	その人のしたことが元になって、相手や周りの人がとばかりを受けたり、いやな思いをしたりする(様子)。古くは、当人が困惑する意に用いられた。	わずらわしくていやな目にあうこと。

表3. 中国語の“麻烦”“损害”の辞書解釈

	《现代汉语词典》	《现代汉语规范词典》	《应用汉语词典》
麻烦	①(形)烦琐；费事。 ②(动)使人费事或增加负担。 ③(名)烦琐难办的事情。		①(形)繁杂琐碎。 ②(动)使别人不便或增加负担。 ③(名)不容易解决的问题。
损害	(动)使(事业、利益、健康、名誉等)蒙受损失。	(动)伤害，使蒙受损失。“损坏”跟“损害”不同，“损坏”重在外部受损，多跟具体事物搭配；“损害”重在内部受损，多跟抽象事物搭配。	(动)使遭受损失。

にも「手間がかかる、面倒である、負担が増える」といった解釈がされており、あまたの犠牲者を出した対中戦争の謝罪に用いるのは軽すぎる。“損害”は「被害、損害を被る」とやや抽象的ではあるが、この言葉を用いた表現は、国賓として来日した江沢民国家主席が小渕恵三首相と共に発表した「1998宣言」にも引き継がれ、以下のように謝罪している。

(3)a. 過去の一時期の中国への侵略によって中国国民に多大な災難と損害を与えた責任を痛感し、これに対し深い反省を表明した。(「1998宣言」)

(3)b. 痛感由于过去对中国的侵略给中国人民带来**巨大灾难和损害**的责任，对此表示**深刻反省**。
(〈1998宣言〉)

(3)a. 「多大な災難と損害を与えた」(3)b. “带来巨大灾难和损害”という表現は、「1972声明」の(2)a. 「重大な損害を与えた」(2)b. “造成重大损害”や、1995年に発表された「村山談話」の(8)a. 「多大の損害と苦痛を与えました」(8)b. “带来了巨大的损害和痛苦”(第5章第1節参照)を踏襲しており、2005年の「小泉談話」も全く同じ表現を用いている(第5章第1節(9)a. b. 参照)。「1972田中スピーチ」の“麻烦”が中国側の強烈な不満を引き起こし、“損害”に改められ、後の首相談話などにも引き継がれている事実を見るに、中国語では戦争謝罪に“损害”“灾难”“痛苦”といった言葉を用いる方が、戦争謝罪の意思が良く伝わる事が分かる。

3. 「不幸」「遺憾」に対応する中国語表現—天皇は中国に謝罪したのか?—

本章では、日中国交回復から1990年代、天皇が対中戦争について公式な場でスピーチした際に用いた「不幸」「遺憾」という言葉を中心に考察する。

日本の天皇は対中戦争について、以下のようなおことばを残している。

(4)a. 在两国悠久的历史中，虽然其间一度发生过**不幸的事情**，… (〈1978天皇〉)

(4)b. 両国の悠久の歴史において、その間に一度は不幸な出来事がありました。… (筆者翻訳)

(5)a. “到了本世纪，经历了**不幸的苦难**”。讲到这里，他(福田首相)离开眼前的讲稿，突然说出：“这的确是**遗憾**的事情。” (〈1978天皇〉)

(5)b. 「今世紀に入り、**不幸な苦難**を経験しました。」ここまで話すと、彼(福田赳夫首相)は原稿から目を離し、突然「これは実に**遺憾**なことでありました。」と言った。(筆者翻訳)

(6)a. 明仁天皇对近代两国间一段**不幸的历史**表示**遗憾**。(〈1989天皇〉)

(6)b. 明仁天皇は近代の両国間の一時期の**不幸な歴史**に対して**遺憾**の意を表明した。(筆者翻訳)

(7)a. しかし、この両国の関係の永きにわたる歴史において、我が国が中国国民に対し**多大**の

苦難を与えた不幸な一時期がありました。これは私の深く悲しみとするところであります。戦争が終わった時、我が国民は、このような戦争を再び繰り返してはならないとの深い反省にたち、平和国家としての道を歩むことを固く決意して、国の再建に取り組みました。(「1992天皇」)

(7)b. 在两国关系悠久的历史，曾经有过一段我国给中国国民带来**深重苦难的不幸时期**。我对此**深感痛心**。战争结束后，我国国民基于不再重演这种战争的**深刻反省**，下定决心，一定要走和平国家的道路，并开始了国家的复兴。(「1992天皇」)

1978年、昭和天皇(裕仁)は訪日した鄧小平副総理に対し、対中戦争について、外務省の用意した原稿を離れ、(4)b.「不幸な出来事」(4)a.“不幸的事情”と述べられた。1989年、天皇陛下(明仁)は訪日した李鵬総理に対し、対中戦争について、(6)b.「不幸な歴史に対して遺憾の意を表明した」(6)a.“对不幸的历史表示遗憾”と述べられた。²⁾ 1992年、訪中した天皇陛下は、楊尚昆国家主席主催の晩餐会において、(7)a.「不幸な一時期」「深く悲しみ」「深い反省にたつ」(7)b.“不幸时期”“深感痛心”“基于深刻反省”と述べられた。なお、福田赳夫首相も鄧小平に対し、(5)b.「不幸な苦難」「遺憾なこと」(5)a.“不幸的苦难”“遗憾的事情”と述べた。第2章で考察した「1972田中スピーチ」にも(1)a.「遺憾ながら」「不幸な経過」(1)b.“遗憾的”“不幸的过程”という同様の表現がある。「不幸」「遺憾」という言葉は、日中国交回復から1990年代にかけて、対中戦争の謝罪に度々用いられていることが分かる。

では、このような言葉を用いた謝罪に対し、中国の反応はどうであったのか。(「1978天皇」)によると、

“共同社说：陛下在首次会见中国最高领导人时使用‘不幸的事件’这一措词，是从天皇的战争责任这个角度，间接向中国人民表明谢罪之意。”

(日本の共同通信社は「陛下が初めて中国の最高指導者と会見した際、“不幸な出来事”という言葉遣いを用いた、天皇の戦争責任の角度から言えば、間接的に中国人に謝罪を表明したということである。」と報じた。：以上、筆者翻訳)

とある。また、傅高义(エズラ・ヴォーゲル)2012.にも、

“黄华说，日本天皇在首次会见中国领导人时使用了‘不幸的事情’这一措辞，‘相当于间接地向中国人就战争伤害致歉’。中国人将福田传递的这一信息视为致歉。”

(黄華=外交部長、鄧小平に随行=は、「日本の天皇が初めて中国の指導者に会った際、“不幸な出来事”という言葉遣いを用いた、間接的に中国人に対して戦争で傷つけたことについて謝罪したのに相当する。」)と述べた。中国人は福田の伝えたこの情報を謝罪と見なした。：以上、筆者翻訳)

とある。天皇および首相の“不幸”という言葉遣いは、中国から「間接的な謝罪」という評価を受け

ていたのである。しかし、〈2015新华社〉は、

“裕仁天皇一直到死也没有对日本侵略过的受害国和人民表示谢罪之意，其继位者则要从勃兰特的‘德国总理跪下去，德意志民族站起来’中受到震动，以谢罪换取冰释，以忏悔换取信任，以真诚换取和谐。”

（裕仁天皇は死亡するまで一貫して、日本が侵略した被害国とその人民に対し、謝罪の意を表明したことがなかった、その皇位継承者（天皇陛下、明仁を指す）は、ブランドの『ドイツ首相は跪き、ドイツ国民は立ち上がれ』という言葉の中から教訓を得るべきである、謝罪を以って雪解けに変え、懺悔を以って信頼に変え、誠意を以って調和に変えなければならない。：筆者翻訳）という社説を掲載した。³⁾ 中国は2015年になると、昭和天皇の“不幸の事情”や天皇陛下の“不幸时期”を、戦争を謝罪する言葉とは受け取らなくなったのである。

天皇が対中戦争を「不幸」と表現したことに対し、中国側の評価が変化した理由は2つ考えられる。

1つは評価をくださった時期である。〈2015新华社〉は「安倍談話」が発表された11日後、中国国営・新華社通信が配信したものである。「天皇の“不幸”という言葉では戦争を謝罪したことにならない」と主張することで、「安倍談話」の「あの戦争には何ら関わりのない、私たちの子や孫、そしてその先の世代の子どもたちに、謝罪を続ける宿命を背負わせてはなりません。」という部分（第5章第2節(4)a. 参照）を暗に批判し、「安倍談話」へ「日本はまだ謝罪していない」という間接的な返事をしたのだろう。また、〈2015新华社〉配信9日後の2015年9月3日、中国は「中国人民抗日戦争および世界反ファシスト戦争勝利記念70周年大会」と称する大規模な軍事パレードを行った。天皇の戦争責任を再度明確にしておくことで、昭和天皇が指揮した抗日戦争に中国が勝利したことの偉大さを際立たせたかった、とも考えられる。

もう1つの理由は、天皇という立場の限界である。日本国憲法第1章1条は「(天皇の) 地位は、主権の存する日本国民の総意に基く」、第4条は「天皇は国政に関する権能を有しない」と規定しているため、天皇が公式な場で発表するスピーチは、政治的な意味合いを持たないよう、あらゆる思想の人が納得するよう、宮内庁の関係者らが協議して決める。もし、天皇が「心からのお詫び」など、直接的な謝罪を表す言葉を用いれば、天皇の戦争責任を免責しようとする右翼から強い反発が来るだろう。「不幸」と表現したのは、まさに「1972田中スピーチ」を起草した橋本中国課長が言ったように（第2章参照）、右翼も左翼も中道も受け入れられる、天皇としての「ギリギリの表現」だったのではなかろうか。

4. 首相談話紹介

本章では、3つの首相談話を紹介する。

4. 1. 「村山談話」 紹介

「村山談話」とは、戦後50年目に当たる1995年8月15日、自民党・社会党・新党さきがけの連立政権の下、閣議決定に基づき、村山富市内閣総理大臣（首相）が「戦後50周年の終戦記念日にあたって」と題して発表した、全1,282字の声明である。歴史認識問題に対する政府見解を初めて示したもので、戦後の日本が平和と繁栄を築いたこと、今後は戦後処理問題に対応することを述べた上で、7つある段落のうち第5段落で、植民地支配と侵略に言及すると共に、痛切な反省と心からのお詫びを表明している。

4. 2. 「小泉談話」 紹介

「小泉談話」とは、戦後60年目に当たる2005年8月15日、自民党・公明党の連立政権の下、閣議決定に基づき、小泉純一郎内閣総理大臣（首相）が「内閣総理大臣談話」と題して発表した、全1,135字の声明である。内容は「村山談話」をおおむね踏襲しているが、「村山談話」にあった戦後処理問題への対応は言及されていない。植民地支配、侵略、痛切な反省、心からのお詫びについては、8つある段落のうち第3段落で述べられている。

4. 3. 「安倍談話」 紹介

「安倍談話」とは、戦後70年目に当たる2015年8月14日、自民党・公明党の連立政権の下、閣議決定に基づき、安倍晋三内閣総理大臣（首相）が「内閣総理大臣談話」と題して発表した。分量は全3,354字あり、「村山談話」「小泉談話」の3倍にも及ぶ。主な内容は、日本が戦争へ突き進んで行った理由は欧米諸国が進めた経済のブロック化にあると説明した上で、痛切な反省と心からのお詫びを表明してきた歴代内閣の立場を継承し、今後の日本人に戦争を謝罪する宿命を負わせてはならない、と主張している。30個ある段落のうち、第2、3、4、13段落では植民地支配と侵略に言及し、第15、16段落では痛切な反省と心からのお詫びを表明し、第23段落では子孫に謝罪の宿命を負わせないと主張している。

5. 首相談話に対応する中国語表現—文章構成と4つのキーワードを中心に—

本章では、3つの首相談話とその中国語訳を中心に考察する。「村山談話」「小泉談話」「安倍談話」には、「植民地支配」「侵略」「痛切な反省」「心からのお詫び」という、いわゆる4つのキーワードを用いているという共通点がある。これら4つのキーワードは、先の戦争責任や「村山談話」を否定しようとする安倍首相が、自身の談話に入れるか入れないかをめぐってクローズアップされた。以下、首相談話のキーワードの使い方、文型、文章構成など、日本語表現およびその中国語訳を比較、考察する。

5.1. 「植民地支配」「侵略」に対応する中国語表現

本節では、首相談話で「植民地支配」「侵略」に言及した箇所を中心に考察する。「植民地支配」や「侵略」は直接的な謝罪の文言ではないが、この言葉の使い方、翻訳の仕方を分析することで、日本側が謝罪しようとする姿勢が中国側に伝わっているかどうか、模索する。

(8)a. わが国は、遠くない過去の一時期、国策を誤り、戦争への道を歩んで国民を存亡の危機に陥れ、**植民地支配**と**侵略**によって、多くの国々、とりわけアジア諸国の人々に対して**多大の損害と苦痛**を与えました。(「村山談話」)

(8)b. 我国在不久的过去一段时期，**国策有错误**，走了战争的道路，使国民陷入存亡的危机，**殖民统治和侵略**给许多国家，特别是亚洲各国人民带来了**巨大的损害和痛苦**。(「村山谈话」)

(9)a. また、我が国は、かつて**植民地支配**と**侵略**によって、多くの国々、とりわけアジア諸国の人々に対して**多大の損害**と**苦痛**を与えました。(「小泉談話」)

(9)b. 我国由于**殖民统治**和**侵略**给许多国家、特别是给亚洲各国人民带来了**巨大的损害和痛苦**。(「小泉谈话」)

「村山談話」「小泉談話」の共通点は、「植民地支配」「侵略」という言葉がいずれも1回ずつ使われ、それを行った主体、主語が「我が国は」であり、日本の加害者としての面を認めていることである。相違点は、「小泉談話」には「村山談話」「国策を誤り、戦争への道を歩んだ」という表現が無いことである。

(10)a. 百年以上前の世界には、西洋諸国を中心とした国々の広大な**植民地**が、広がっていました。圧倒的な技術優位を背景に、**植民地支配**の波は、十九世紀、アジアにも押し寄せました。(中略) 日露戦争は、植民地支配のもとにあった、多くのアジアやアフリカの人々を勇気づけました。(中略) 民族自決の動きが広がり、それまでの**植民地化**にブレーキがかかりました。(中略) しかし、世界恐慌が発生し、欧米諸国が、**植民地経済**を巻き込んだ、**経済のブロック化**を進めると、日本経済は大きな打撃を受けました。(中略) 先の大戦では、三百万余の同胞の命が失われました。(中略) 二度と戦争の惨禍を繰り返してはならない。事変、**侵略**、戦争。(中略) **植民地支配**から永遠に訣別し、… (「安倍談話」)

(10)b. 一百多年前，以西方国家为主的各国的广大**殖民地**遍及世界各地。十九世纪，以技术的绝对优势为背景，殖民统治亦波及到亚洲。(中略) 日俄战争鼓舞了许多处在殖民统治之下的亚洲和非洲的人们。(中略) 民族自决运动的扩大阻止了此前的**殖民地化**。(中略) 但是，在世界经济危机发生后，欧美各国以卷入**殖民地**经济来推动区域经济集团化，从而**日本经济受到重大打击**。

(中略)由于那场战争失去了三百多万同胞的生命。(中略)再也不要重演战祸。事变、**侵略**、战争。

(中略)应该永远跟**殖民统治**告别，…(〈安倍谈话大使馆〉)

(10)c. 一百多年前，以西方国家为中心的**殖民地**范围在不断扩大。十九世纪，西方国家拥有先进的科学技术，在此背景下，**殖民统治**的浪潮开始席卷全亚洲。(中略)为反抗俄国的殖民统治，日俄战争爆发了，这场战争的胜利也鼓舞了广大亚非国家的人民。(中略)民族主义思潮盛行，殖民统治划上了休止符。(中略)然而，随着世界经济危机的爆发，欧美各国开始大力发展**殖民地**经济，经济封锁政策使日本经济遭受巨大打击。(中略)在二战中，三百多万的日本同胞献出了生命。(中略)我们不能重蹈覆辙。事变、**侵略**、战争，(中略)我们必须永远告别**殖民统治**，…(〈安倍谈话新浪网〉)

(10)d. 百年以前的世界，以西洋各国为中心，各国的**殖民地**在不断扩散，以压倒的技术优越性为背景，**殖民地**支配之波涌向了19世纪的亚洲。(中略)日俄战争发生在**殖民地**支配的基础上，鼓舞了多数亚洲和非洲人的勇气。(中略)日本民族自强的趋势在增强，给那时的**殖民地**化拉上了车闸。(中略)但是由于发生了世界恐慌，欧美各国卷入了**殖民地**经济，并推进经济的分块化，这让日本经济遭受巨大打击。(中略)上次的大战有3百多万同胞失去了生命。(中略)不能再次重复战争的惨祸。事变、**侵略**、战争，(中略)永远诀别**殖民地**支配，…(〈安倍谈话环球网〉)

「安倍談話」では、「植民地支配」「植民地」という言葉がそれぞれ3回ずつ、「侵略」という言葉が1回、使われている。「安倍談話」では、(10)a.「100年前の世界は植民地が広がっており、アジアにも植民地支配が及んだ」と述べており、「村山談話」「小泉談話」のように「我が国」が「植民地支配」や「侵略」を行ったとは述べていない。

ここで、「安倍談話」の日本大使館と中国サイトの翻訳の大きな違いを3点、取り上げたい。

1つ目は、「安倍談話」(10)a.「日露戦争は、植民地支配のもとにあった、多くのアジアやアフリカの人々を勇気づけた。」である。中国サイト〈安倍谈话新浪网〉では(10)c.“为反抗俄国的殖民统治，日俄战争爆发了，这场战争的胜利也鼓舞了广大亚非国家的人民。”「ロシアの植民地支配に抵抗するため、日露戦争が勃発した、この戦争の勝利は広大なアジア・アフリカ諸国の人々を勇気づけました。」と翻訳している。「安倍談話」(10)a.では「日露戦争」が主語になっているが、〈安倍谈话新浪网〉(10)c.では介詞“为”を用いて「ロシアの植民地支配への抵抗」を文頭に置き、日露戦争が勃発した理由にして、後半の文の主語は「日露戦争の勝利」とし、「安倍談話」(10)a.には無い「勝利」を加訳している。中国サイトの翻訳は、「安倍談話」が日露戦争の正当性を訴え、勝利を称えているように読める。

2つ目は、「安倍談話」(10)a.「欧米諸国が、植民地経済を巻き込んだ、経済のブロック化を進めると、日本経済は大きな打撃を受けた」の部分で、「安倍談話」は日本に打撃を与えた欧米を非難

している。この箇所に対応する中国語訳は、〈安倍谈话大使馆〉(10) b. が“日本经济受到重大打击”「日本経済は大きな打撃を受けた」と、「日本経済」が主語になっているのに対し、〈安倍谈话新浪网〉では(10) c. “经济封锁政策使日本经济遭受巨大打击”「**経済封鎖政策**が日本経済に大きな打撃を被らせしめた」、〈安倍谈话环球网〉も (10) d. “推进经济的分块化，这让日本经济遭受巨大打击”「(欧米諸国は) **経済のブロック化**を推し進めた、**このことが**日本経済に大きな打撃を被らせた」で、中国サイトは両方とも「欧米諸国」「経済のブロック化」を主語とし、使役を表す“使”“让”を用いて翻訳している。中国語は日本語より使役を多用するからであろう。また、〈环球网〉は中国共産党機関紙『人民日報』のタブロイド紙で、民族主義的な立場を取っているため、使役を用いた翻訳によって、日本が欧米のブロック経済の被害者になったと訴えていることを表したいのかもしれない。

3つ目は、以下の例文(11) a. c. の違いである。「安倍談話」を翻訳した中国サイト〈安倍谈话新浪网〉だけ、「その」という指示詞を「侵略」と翻訳している。

(11) a. 国内の政治システムは、その歯止めたりえなかった。(「安倍談話」)

(11) c. 当时日本国内的政治体制已无法阻挡日本走上**对外侵略**扩张的道路。(〈安倍谈话新浪网〉)

「安倍談話」(11) a. には、「国内の政治システムは、その歯止めたりえなかった。」と、「侵略」という言葉は無いのだが、〈安倍谈话新浪网〉(11) c. では「当時日本国内の政治システムにはすでに、日本が**对外侵略**拡張の道を歩むのを阻止するすべがなかった。」と「侵略」を加訳し、(11) a. 「安倍談話」の「その」をはっきりさせようとしている。〈1972周恩来发火〉によると、

“中国坚持首先明确那场战争的性质是侵略，这是两国恢复友好关系的前提。”

(中国はまずあの戦争の性質は侵略であることをはっきりさせることが、両国の友好関係回復の前提である、との立場を堅持していた。：筆者翻訳)

とある。中国サイトの翻訳は対中戦争が侵略だったことを明らかにしようとしている。

5. 2. 「痛切な反省」「心からのお詫び」に対応する中国語表現

本節では、首相談話に用いられている「痛切な反省」「心からのお詫び」という言葉を中心に考察する。

(12) a. 私は、未来に誤り無からしめんとするが故に、疑うべくもないこの歴史の事実を謙虚に受け止め、ここにあらためて**痛切な反省**の意を表し、**心からのお詫び**の気持ちを表明いたします。(「村山談話」)

(12) b. 为了避免未来有错误，**我就**谦虚地对待毫无疑问的这一历史事实，谨此再次表示**深刻的反**

省和由衷的歉意。(〈村山谈话〉)

(13)a. こうした歴史の事実を謙虚に受け止め、改めて痛切な反省と心からのお詫びの気持ちを表明するとともに、… (〈小泉談話〉)

(13)b. 我谦虚地对待这一历史事实，谨此再次表示**深刻的反省和由衷的歉意**。(〈小泉谈话〉)

(14)a. 我が国は、先の大戦における行いについて、繰り返し、痛切な反省と心からのお詫びの気持ちを表明してきました。(中略) こうした歴代内閣の立場は、今後も、揺るぎないものがあります。(中略) あの戦争には何ら関わりのない、私たちの子や孫、そしてその先の世代の子どもたちに、謝罪を続ける宿命を背負わせてはなりません。(「安倍談話」)

(14)b. 我国对在那场战争中的行为多次表示**深刻的反省和由衷的歉意**。(中略) 这些历代**内閣の立場**今后也将是坚定不移的。我们不能让与战争毫无关系的子孙后代担负起继续道歉的宿命。(〈安倍谈话大使馆〉)

(14)c. 我国已经反复对自己在战争中的行为表示了**深刻的反省以及诚挚的歉意**。(中略) 日本**内閣の立場**今后不会发生动摇。(中略) 与那场战争毫无关联的子孙孙，我们不能再让他们继续背负谢罪的宿命。(〈安倍谈话新浪网〉)

(14)d. 我国对上次大战的行为一直反复表明了**痛切反省和发自内心的道歉**。(中略) 如此历代**内閣の立場**，今后也不会动摇。(中略) 不能让和那场战争没有任何关系，我们的子孙后代背负不断谢罪的宿命。(〈安倍谈话环球网〉)

「村山談話」「小泉談話」「安倍談話」の共通点は、「痛切な反省」「心からのお詫び」という表現がいずれも1回ずつ使われていることである。

「村山談話」「小泉談話」と「安倍談話」が決定的に異なる点は2つある。1つ目は、反省とお詫びを表明した主体、主語である。「村山談話」(12)a.では「私は」、その中国語訳(12)b.の主語も“我”、すなわち村山首相である。「小泉談話」(13)a.では主語が無いが、その中国語訳(13)b.では“我”、すなわち小泉首相が加訳されている。安倍談話(14)a.の主語は「我が国は」、その中国語訳(14)b. c. d.の主語も“我国”となっており、その後に「こうした歴代内閣の立場は今後も揺るぎない」と続けている。3つの首相談話の主語を比較するに、反省とお詫びを表明するのは、「村山談話」では明らかに首相自身であるが、「小泉談話」ではやや曖昧になり、「安倍談話」では「我が国」「歴代内閣」である。「小泉談話」には第一人称単数「私」の多用を好まない日本語の特徴が表れており、「安倍談話」には安倍首相が日本国を代表した姿勢が表れている。2つ目は、「安倍談話」の第23段落目の「子や孫、その先の世代に、謝罪を続ける宿命を背負わせてはならない」という部分で、「村山談話」や「小泉談話」には無い「これ以上謝罪したくない」という意思表示をしている。

次に、「痛切な反省」という表現について考察する。これは「村山談話」発表以前、首相や天皇

も類似の表現を用いている。例えば、「1972田中スピーチ」の(1)a.「深い反省の念」(1)b.“深切的反省之意”、「1972声明」の(2)a.「深く反省」(2)b.“深刻的反省”、「1998宣言」の(3)a.「深い反省」(3)b.“深刻反省”、「1992天皇」の(7)a.「深い反省」(7)b.“深刻反省”などである(第2、3章参照)。「村山談話」「小泉談話」「安倍談話」も「痛切な反省」「深刻的反省」(中国紙サイト〈安倍谈话环球网〉だけ“痛切反省”と直訳)と、これまでの表現を踏襲している。日中国交回復から現代までほとんど同じ文言で用いられている事実を見るに、中国語では戦争謝罪に“深刻反省”という表現を用いると、謝罪の意思がきちんと伝わっていると言える。

本節の最後に、「心からのお詫び」について考察する。これは「村山談話」「小泉談話」「安倍談話」全てで用いている。「心からの」の翻訳に“由衷”を用いたのは〈村山谈话〉〈小泉谈话〉〈安倍谈话大使馆〉、“诚挚”を用いたのは〈安倍谈话新浪网〉、“发自内心的”を用いたのは〈安倍谈话环球网〉である。「お詫び」の翻訳に“歉意”を用いたのは〈村山谈话〉〈小泉谈话〉〈安倍谈话大使馆〉〈安倍谈话新浪网〉、“道歉”を用いたのは〈安倍谈话环球网〉である。翻訳に用いられている言葉が、日本大使館と中国サイトで異なる傾向がみられる(表4、5参照)。中国語の“由衷”“诚挚”“内心”“歉意”“抱歉”“道歉”という言葉の辞書解釈は、表4、5のようになる。

まず表4を見るに、“由衷”には「本意に基づく、心の奥から」、诚挚”には「心がこもった、偽りのない」といった解釈がされており、「心からの」の翻訳には“由衷”“诚挚”のいずれでも真意が伝わるだろう。次に表5を見るに、“歉意”には“抱歉的意思”とあるので、“抱歉”を引くと「他人に申し訳ない、不安」、「道歉」には「お詫びを表明する、過ちを認める」といった解釈がされている。辞書解釈から判断すると、「お詫び」の翻訳には“歉意”よりも“道歉”の方が日本の過ちを認めたニュアンスが伝わりそうだ。《現代汉语实词搭配词典》には、(14)b. c. の“表示歉意”(p.82)と“表示道歉”(p.213)という動賓構造は掲載されているが、(14)d. の“表明道歉”という言い方は掲載されていない。戦争謝罪の意思が良く伝わり、かつ中国語としても成立する言い方は、“表示歉意”“表

表4. 「心からの」の翻訳に用いた中国語の単語およびその辞書解釈(用いている場合は●印)

	《现代汉语词典》	《现代汉语规范词典》	《应用汉语词典》	村山谈话	小泉谈话	安倍大使	安倍新浪	安倍环球
由衷	(动) 出于本心。	(动) 发自 内心 。	(形) 发自 内心的 。	●	●	●		
诚挚	(形) 诚恳真挚 。	(形) 诚恳而真挚 。“诚恳”侧重形容人的态度;“诚挚”侧重形容人的感情。	(形) 诚恳真挚 。				●	
发自内心	内心:(名) 心里头。	内心:(名) 心中 ; 心里 。	内心:(名) 心中 ; 心里 。					●

表5. 「お詫び」の翻訳に用いた中国語の単語およびその辞書解釈（用いている場合は●印）

	《现代汉语词典》	《现代汉语规范词典》	《现代汉语常用词用法词典》	《应用汉语词典》	村山谈话	小泉谈话	安倍大使	安倍新浪	安倍环球
歉意	(名) 抱歉的意思。 * “抱歉”は下段参照	(名) 觉得 对不起 别人的心情。		(名) 抱歉的心意。 * “抱歉”は下段参照	●	●	●	●	
抱歉	(形) 心中 不安 , 觉着 对不起 别人。	(动) 心理觉得 对不起 别人而不安。	(形) 表示心情的 不安 , 觉得对不起。	(动) 觉得 对不起 别人而感到不安。					
道歉	(动) 表示歉意, 特指 认错 。	(动) 向人表示歉意。	(动) 表示歉意; 认错 。	(动) 向人表示歉意或向人 认错 。					●

示道歉”といった翻訳であろう。

5.3. 首相談話に対する中国の評価

本節では、首相談話に対する中国の評価を考察する。(2015新华社)によると、

“令人失望的是，最近日本众议院强行通过的新安保法案，表明安倍政府是在逆潮流而动、背人心而行，表明日本的主要政治势力还没有从根本上改变对待七十年前那场战争的立场和态度。(中略)二十年前，日本首相村山富市发表谈话，公开表明对侵略战争“深刻的反省和由衷的歉意”，对所有受害者“沉痛的哀悼”；今年，他又撰文表示“‘必须要切实进行谢罪’”。

(失望させられたのは、最近日本の衆議院が強行採決した安保法案だ⁴、これは安倍政権が時代の流れに逆らい、人々の心に背き、日本の主要な政治勢力が70年前のあの戦争に対する立場と態度をまだ根本的には変えていないことの表れである。(中略)20年前、日本の首相であった村山富市は談話を発表し、侵略戦争に対する“痛切な反省と心からのお詫び”、全ての被害者に対する“深い哀悼の念”を公に表明した。今年、彼は再び「適切に謝罪を行うべきである」という文章を執筆している。：筆者翻訳)

とあり、「村山談話」を評価し、安倍政権に反感を抱いていることが読み取れる。3つの首相談話は全て「植民地支配」「侵略」「痛切な反省」「心からのお詫び」という同じ言葉を用いているのに、中国が「安倍談話」を評価しないのはなぜだろうか。

1つ目の理由は、植民地支配、侵略の主体の明示である。「村山談話」では「我が国」が「植民地支配」「侵略」を行ったと認めた上で、「私」が「反省」「お詫び」を表明しているが、「安倍談話」にはそういった行為の主体が登場しない(第5章第1節参照)。

2つ目の理由は、戦争理由の説明である。「村山談話」は日本が侵略戦争を引き起こした理由を「国策を誤った」と述べているのに対し、「安倍談話」はかなりの文字数を費やして、「欧米諸国が経済のブロック化を進めたため、日本が追い詰められた」と説明している（第5章第1節参照）。さらに、「子孫には謝罪の宿命を負わせない」と付け加え、今後の謝罪を拒否している（第5章第2節参照）。中国が「安倍談話」を評価しない理由は、日本も欧米諸国の被害者であり、侵略には理があったという説明にあるのだろう。よって、1990年代までは間接的な謝罪をしたと認めていた天皇に対してまで、再び謝罪を求めるようになった（第3章参照）と考えられる。

6. 考察結果の総括

以上、日本の戦争責任やそれに対する謝罪を述べた公式の文書やスピーチで、誰がどのような言葉を用いているか、そしてそれがどのような中国語に翻訳されているかを調査、考察し、以下のような結果を得た。

- (1) 対中戦争について、“反省”“歉意”“道歉”という言葉を用いた謝罪は、中国におおむね評価されている。戦争被害を表すには、“損害”“灾难”“痛苦”が適切であり、“麻烦”は誤訳である。
- (2) 3つの首相談話は全て「植民地支配」「侵略」「痛切な反省」「心からのお詫び」という4つのキーワードを用いているが、中国は「村山談話」を評価し、「安倍談話」を評価していない。これは、日本が「植民地支配」と「侵略」をしたのが、「村山談話」では「わが国が国策を誤った」と述べているのに対し、「安倍談話」では「欧米のブロック経済が日本に打撃を与えたから」と説明し、「痛切な反省」と「心からのお詫び」を表明するのが、「村山談話」では「私」（村山首相）であるのに対し、「安倍談話」では「我が国」「歴代内閣」である、といった違いによるものと考えられる。
- (3) 天皇がスピーチで用いた“不幸”“遺憾”という言葉も、中国はかつて間接的な謝罪と受け取られていたが、「安倍談話」の発表後、謝罪表現と受け取らなくなった。
- (4) 「安倍談話」の中国サイトの翻訳では、「日露戦争は」という主語に「日露戦争の勝利」と加訳する、主語を「経済封鎖」「ブロック経済」とし、“使”“让”という言葉の後ろに「日本経済」が来る使役型を使う、日本語の「その」という指示代名詞を「侵略」と言い換えて明示している。中国サイトは中国人読者が理解しやすいよう、原文には無い加訳、明示、文型の変換などの技法を駆使して翻訳している。

最後に、対中戦争を謝罪するのに用いられた言葉、計12種類をピックアップし、①中国から謝罪と受け取られ、高く評価されているものは○②時代や発信者によって中国からの評価が異なるものは△③中国が反発したものは×——として、表6に示す。

表6. 対中戦争の謝罪に用いられた言葉に対する中国の評価

	麻烦	损害	灾难	痛苦	不幸	遗憾	痛心	反省	诚挚	道歉	由衷	歉意
〈1972田中讲话〉	×				△	△		△				
〈1972声明〉		○						○				
〈1978天皇〉					△	△						
〈1989天皇〉					△	△		△				
〈1992天皇〉					△		△	△				
〈1998宣言〉		○	○					○				
〈村山谈话〉		○		○				○			○	○
〈小泉谈话〉		○		○				○			○	○
〈安倍谈话大使馆〉								△			△	△
〈安倍谈话新浪网〉								△	△			△
〈安倍谈话环球网〉								△		△		

【注】

1. 劉遵義は、「日本にこれ以上の謝罪を求めるのを止め、南京の大虐殺、中国東北部での人体実験、従軍慰安婦などについて、真実を開示させるべきだ。」と主張している。
2. 日本では天皇陛下が李鵬総理に述べられたおことばは公表されていない。宮内庁HP「天皇皇后両陛下の記者会見」
(<http://www.kunaicho.go.jp/okotoba/01/kaiken/kaiken-h01-gosokui.html>, 1989年8月4日)によると、「李鵬首相が来日しましたが、このときの会見で陛下は日中戦争をめぐる中国に、遺憾の意を表明されたと伝えられました。どのようなお気持ちでそうおっしゃったのか、お聞かせください。という記者の質問に、天皇陛下は「その問題については、公表しないことになっております。」とお答えになっている。
3. 同社説に対し、菅義偉官房長官は即、中国政府に抗議している。
4. 集团的自衛権の限定的な行使容認を含む安全保障関連法案の可決を指す。「安倍談話」が発表される約1か月前の2015年7月16日、安保法案の採決が衆議院で行われ、民主党などが退席する中、自民、公明両党と次世代の党の賛成により可決された。

【出典資料】

「1972田中スピーチ」：「周恩来総理主催招宴における田中内閣総理大臣挨拶」、

<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/~worldjpn/documents/texts/JPCH/19720925.S1J.html>, 1972年9月25日

〈1972田中讲话〉：〈田中总理大臣在周总理举行的欢迎宴会上的祝酒词〉、

<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/~worldjpn/documents/texts/JPCH/19720925.S1C.html>, 1972年9月25日

「1972声明」：「日中共同声明（日本国政府と中華人民共和国政府の共同声明）」、

<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/~worldjpn/documents/texts/docs/19720929.D1J.html>

〈1972声明〉：〈中华人民共和国政府日本国政府联合声明〉、

<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/~worldjpn/documents/texts/JPCH/19720929.D1C.html>

- 〈1978天皇〉：〈邓小平1978年访日：最终实现了周恩来的遗愿〉，《人民网 文史频道》，
<http://history.people.com.cn/GB/205396/18092450.html>，2012年06月06日
- 〈1989天皇〉：〈中日双边政治关系回顾〉，<http://www.cntv.cn/lm/754/-1/49457.html>
- 〔1992天皇〕：「国家主席主催晩餐会（人民大会堂）における天皇陛下のおことば」、宮内庁HP、
<http://www.kunaicho.go.jp/okotoba/01/speech/speech-h04e-china.html#china>、平成4（1992）年10月23日（金）
- 〈1992天皇〉：杨振亚2007《出使东瀛》，上海辞书出版社，
http://blog.sina.com.cn/s/blog_4dd3b7af0100b3s0.html
- 〔村山談話〕：「戦後50周年の終戦記念日にあたって」（いわゆる村山談話）、外務省HP、
http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/danwa/07/dmu_0815.html
- 〔村山谈话〕：〈村山富市 内阁总理大臣谈话〉，日本国驻华大使馆HP、
http://www.cn.emb-japan.go.jp/bilateral/bunken_1995danwa.htm
- 〔小泉談話〕：「内閣総理大臣談話」、首相官邸HP、
<http://www.kantei.go.jp/jp/koizumispeech/2005/08/15danwa.html>
- 〔小泉谈话〕：〈小泉纯一郎 内阁总理大臣谈话〉，日本国驻华大使馆HP、
http://www.cn.emb-japan.go.jp/bilateral/bunken_2005danwa.htm
- 〔1998宣言〕：「平和と発展のための友好協力パートナーシップの構築に関する日中共同宣言（江沢民・小渕恵三）」、外務省HP、
http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/china/nc_sengen.html
- 〔1998宣言〕：〈中日关于建立致力于和平与发展的友好合作伙伴关系的联合宣言〉，法律教育网，
<http://www.chinalawedu.com/falvfagui/fg23155/172469.shtml>
- 〔安倍談話〕：「安倍内閣総理大臣談話」、首相官邸HP、
http://www.kantei.go.jp/jp/97_abe/discource/20150814danwa.html、2015年8月14日
- 〔安倍谈话大使馆〕：〈安倍晋三内阁总理大臣谈话〉，日本国驻华大使馆HP、
http://www.cn.emb-japan.go.jp/bilateral/bunken_2015danwa.htm
- 〔安倍谈话新浪网〕：新浪网，
<http://news.sina.com.cn/w/zg/wmqrp/2015-08-14/22231356.html>
- 〔安倍谈话环球网〕：环球网，http://news.ifeng.com/a/20150814/44431474_0.shtml

【参考文献】

- 傅高义（Ezra Feivel Vogelエズラ・ヴォーゲル）2012. 〈1978年邓小平对日本的成功访问〉，凤凰网历史，
http://news.ifeng.com/history/zhongguojindaishi/special/diaoyudao/detail_2012_07/27/16354540_0.shtml，2012年7月27日
- 马立诚2015. 〈中日和解是对二战结束70周年最好的纪念〉，
http://news.ifeng.com/a/20150707/44120605_1.shtml
- 劉遵義（ローレンス・J・ラウ）2015. 「謝罪はもういらぬ。日本には第二次大戦の真実を話してほしい」、
http://www.huffingtonpost.jp/lawrence-j-lau/enough-apologies-we-need-more-truth_b_8087488.html、2015年9月4日
- 〈1972周恩来发火〉：〈1972中日建交谈判，周恩来为什么对田中角荣发火〉，论文网，
<http://www.xzbu.com/5/view-1852609.htm>
- 〈2015新华社〉：〈谁应为日本侵略战争罪行谢罪〉，

http://news.xinhuanet.com/mil/2015-08/25/c_1116366796.htm、2015年8月25日

《现代汉语词典》第七版，中国社会科学院语言研究所词典编辑室编，商务印书馆，中国北京，2016年

《现代汉语规范词典》第二版，李行健主编，外语教学与研究出版社，中国北京，2010年

《现代汉语常用词用法词典》第一版，顾士熙主编，中国书籍出版社，中国北京，2002年

《现代汉语实词搭配词典》张寿康、林杏光主编，商务印书馆，中国北京，1996年

《应用汉语词典》第一版，商务印书馆辞书研究中心编，商务印书馆，中国北京，2000年

横川伸2011.「『多大のご迷惑』と中国語訳について」、『横川伸古希記念日中言語文化研究論集』p1～17、古希記

念論集編集委員会編、白帝社発行、日本東京

『広辞苑』第六版、新村出編、岩波書店、2008年3月11日

『新明解国語辞典』第七版、山田忠雄編、三省堂、2012年2月10日

『新選国語辞典』第九版、野村雅明編、小学館、2011年1月26日

『岩波国語辞典』第七版新版、西尾実編、岩波書店、2011年11月18日

[付記] 本稿は、2017年度東洋大学国内研究の研究成果公表の一部である。